## 日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2011.09.21

No.11-039

HP: <a href="http://jalfltcrewob.web.fc2.com/">http://jalfltcrewob.web.fc2.com/</a> Mail: <a href="jalfltcrewob1@gmail.com">jalfltcrewob1@gmail.com</a>

安全で明るい JAL

## 9月の証人尋問裁判 前半終わる

# 人件費、目標よりも更に206億円削減 なのに解雇(5億円分)

9月16日 客乗裁判 速報

夕方 5 時を過ぎても終わらない長い一日となりましたが、9月5日の乗員裁判に続き、 今回は会社側4人の証人尋問が行われました。

その後、140人の参加で報告集会が行われました。

### 集会での弁護団からの報告

#### 片山英二 (元管財人)証言 について

JALでは、「管財人会」が最高意思決定機関だと社内報などで周知されていますが、片山証人は(解雇は)そこでは決めていない、「事前協議会」で決めたのだと突如言いだしました。

しかし、それはどこにも記載されていません。果たして、この解雇は(正式な機関決定として)誰がどこで決めたのか、それすら定かでないということが判明した訳です。

裁判長も、それは誰が構成メンバーかと聞いたのですが、言葉を濁している。いったい

どうなっているんだということになったわけです。

(注:稲盛会長も「管財人」のメンバーとして事前協議会に出席しており、異論も出さず、そこでの解雇の決定は全会一致だった由)

彼ら自身が決めた更生計画で初年度営業利益 641 億円あげる、そのために人件費は 2755 億円にする。実際はそれよりも更に 206 億円削減しました。しかも解雇を決めた 2010 年 12 月段階ではその見通しが立っていた。解雇での 2010 年度の効果額は約 5 億円なの に解雇を決めたのです。これは重要です。

(注: JAL グループ人件費 2010 年度実績 2549、更生計画 2755、計画差 -206 億円)

また、グループ全体で32,600人とするという彼らの更生計画の目標も実際は3月末には 千数百人超過して達成しており、165 名を解雇する必要がなかったことが改めて判明し ました。

今回の会社更生の特徴として、従業員の待遇が恵まれている、乗務員はハイヤーに乗っているなど金融機関や国民目線が厳しかったと言っています。

しかし、人件費率は ANA よりも低いことなどの分析はしていない、ハイヤーに乗っている事実はないなど、根拠も答えられないような俗論を理由にしているのです。

前回からの尋問を通して、片山氏は解雇の根拠を何も示すことが出来ませんでした。

#### 菊山英樹(前経営企画本部副本部長)証言ついて

単年度の利益ばかりを言うのは本質ではなくて財務基盤をよくすることが大事と強調 していましたが、そのために解雇をしたのか、財務基盤を悪くしたのは誰のせいかと言 いたい。

(傍聴されていた次回証人の醍醐先生談: "特に JAL は単年度の利益を積み重ねて財務基盤が強化される訳で、単年度のはあまり関係がないというのはおかしい")

更生計画の「事業縮小」から「余剰人員」「解雇」へと話がつながっていますが、その 入り口のところの、縮小する「赤字路線」について考え方に疑問があります。これは、 次回も追及していきます。

#### 小枝直仁(客室企画部)証言について

客乗職の場合は、更生計画案の人員削減数を 90 人増やし、そして若い人も含めれば退職希望者が多くいたのに年齢制限をつけて募集数になるべく達しないようにした。この 二つで、84 名の解雇、活動家や執行委員を解雇に持っていった。これが特徴です。

#### 羽生貴志(前労務部長)証言について

人選基準は、客観性があって恣意が入らないものと言っているが、それを適用されて 解雇される人への思いが全く感じられません。

#### まとめ

会社は更生計画の目標はすべて達成しているが、その中身から外れてそれ以上のものをやろうとしています。どんなに儲かっていても、とにかく余剰人員を抱えないということに話が帰っていきます。

イベントリスクに耐える力がどう基盤として作られてきているのか、誰もはっきりとは 言えないということが明確になってきています。

#### 最後に内田客乗原告団長のあいさつ

最近、乗客の不満も高まってきていることが職場で報告されています。

勝って職場に復帰し、乗客のみなさまにこれからも乗っていただけるような JAL にしていきましょう。

#### 次回の日程

- **9月26日 乗員証人尋問裁判** (10:00~終日、103号法廷)
  - 1. 菊山英樹 前経営企画本部副本部長(午前)
  - 2. 醍醐 聰 東京大学名誉教授(午前、午後の一部)
  - 3. 清田 均 乗員原告団事務局長(午後)
  - 4. 小川洋平 乗員組合副委員長(午後)